

衛研第2-23号
平成29年9月6日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. 注目すべき疾患 - 腸管出血性大腸菌感染症 -
3. 今週の注目される定点把握対象疾患の推移（グラフ）
4. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
5. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
6. 全国及び関東情報
7. 今週の流行状況

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493-59-9325
FAX 0493-59-9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 29 年 第 35 週（平成 29 年 8 月 28 日～平成 29 年 9 月 3 日）

今週の注目される疾患

図は 次ページを参照

全数把握対象疾患では、一類及び二類（結核を除く）感染症の届出はなかった。三類感染症は、腸管出血性大腸菌感染症 13 人の届出があった（図 1,2）。四類感染症は、E 型肝炎 1 人、A 型肝炎 1 人、デング熱 1 人、レジオネラ症 5 人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢 1 人、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2 人、急性脳炎 1 人、梅毒 6 人の届出があった。

定点把握対象疾患では、RSウイルス感染症(2.55 3.10：図 3)の定点当たり報告数は 7 月以降増加しており、過去 4 年と比較し最も早い流行となっている。また、調査が始まって以降最大値となった。保健所別では、幸手(3.89 5.44)、加須(2.67 4.83)保健所管内で大きく増加した。年齢階級別では、1 歳以下で全体の 74.5%を占めている。夏型感染症では、手足口病(11.18 10.33：図 4)の定点当たり報告数は前週と同水準に留まり、過去 4 年の同時期より多い。保健所別では、さいたま市(13.85)、春日部(13.17)、越谷市(12.63)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、3 歳以下で全体の 80.0%を占め、1 歳が最も多い。ヘルパンギーナ(2.03 1.88)の定点当たり報告数は前週と同水準であった。保健所別では、熊谷(3.89 5.33)保健所管内で大きく増加し、春日部(3.17)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、流行性角結膜炎 57 人の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、無菌性髄膜炎 2 人、マイコプラズマ肺炎 2 人の報告があった。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症 報告なし

二類感染症 報告なし（結核を除く）

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 13 人（類型 患者 10 人、
無症状病原体保有者 3 人、
血清型 O157 11 人、O26 1 人、
O 血清型不明 1 人）

四類感染症 E 型肝炎 1 人（推定感染地域 国外）

A 型肝炎 1 人（推定感染地域 国内）

デング熱 1 人（推定感染地域 国外）

レジオネラ症 5 人（病型 肺炎型 5 人）

五類感染症 アメーバ赤痢 1 人（病型 腸管アメーバ症）

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2 人（菌種 *Enterobacter* sp. 2 人）

急性脳炎 1 人（病原体 単純ヘルペスウイルス）

梅毒 6 人（病型 早期顕症 期 2 人、
早期顕症 期 2 人、
無症状病原体保有者 2 人）

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

＜今週の注目される全数把握対象疾患－腸管出血性大腸菌感染症－＞

腸管出血性大腸菌感染症の届出は30週(7月24日～30日)以降、多い状況が続いている。血清型/毒素型別ではO157/VT2が顕著に多い。

図1 腸管出血性大腸菌感染症 血清型別

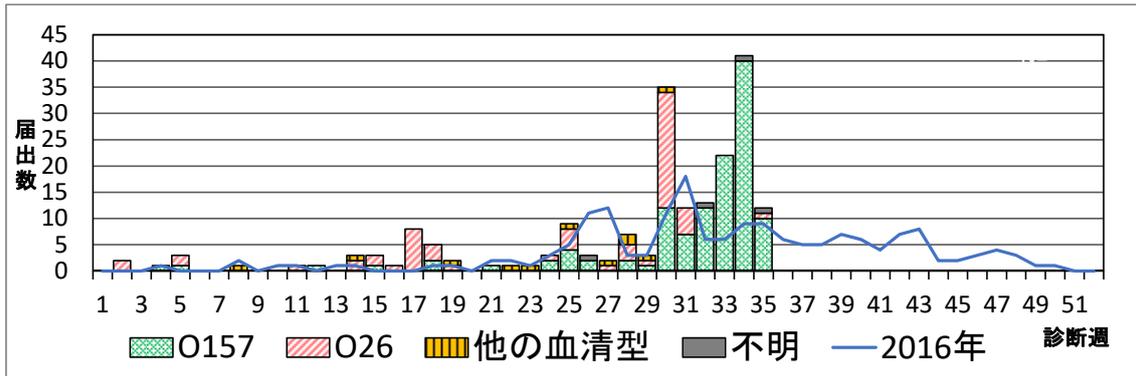
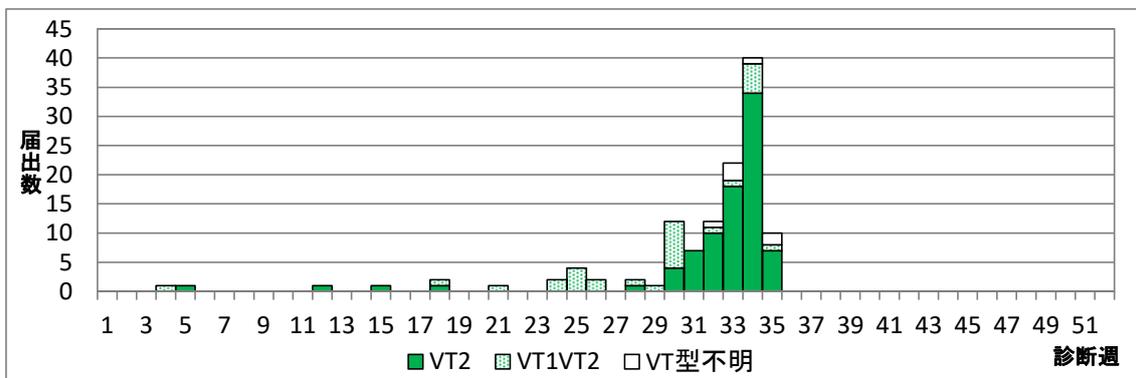


図2 腸管出血性大腸菌感染症 O157/毒素型別



＜今週の注目される定点把握対象疾患の推移＞

図3 RSウイルス感染症

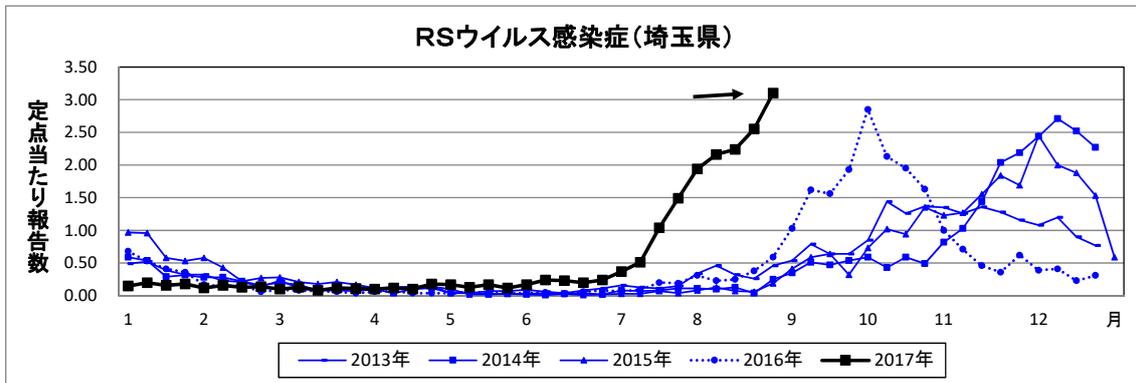
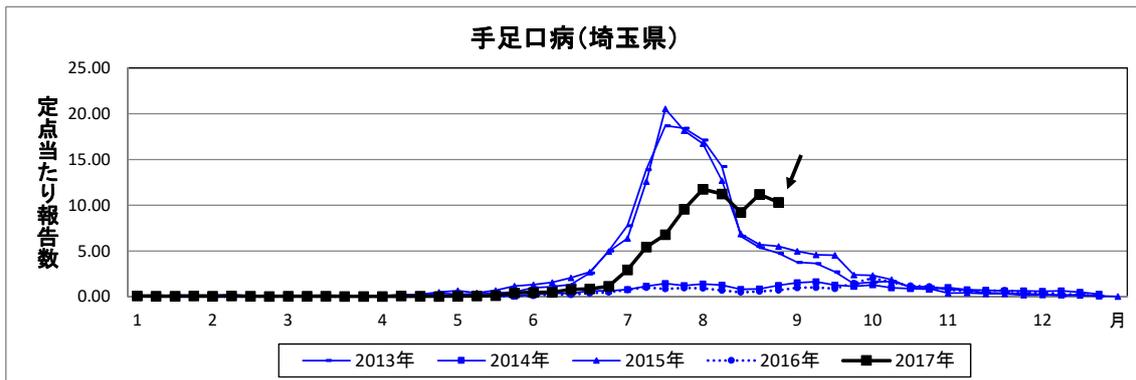


図4 手足口病



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第35週)

(2017年9月5日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		4	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	13	196			
四類感染症					
E型肝炎	1	14	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎	1	12	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサナル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	5	62
つつが虫病			レプトスピラ症		2
デング熱	1	9	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	1	36	侵襲性肺炎球菌感染症		91
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		7	水痘*		10
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	42	先天性風しん症候群		
急性脳炎	1	30	梅毒	6	139
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		1
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	破傷風		2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		15	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		23	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		7
ジアルジア症			風しん		5
侵襲性インフルエンザ菌感染症		13	麻しん		4
侵襲性髄膜炎菌感染症			薬剤耐性アシネトバクター感染症		7
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	4	3		

累計は診断日で集計

* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第35週 平成29年8月28日～平成29年9月3日)

	年齢別																				
	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ #1	23	-	-	2	1	-	2	4	6	1	1	-	2	-	3	-	-	-	1	-	-
合計	505	46	89	241	91	31	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	78	1	-	17	12	10	11	10	5	-	2	2	6	-	2	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	212	-	1	8	14	15	23	37	23	30	15	10	20	-	16	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	593	6	41	75	64	57	54	48	34	29	23	22	69	18	53	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	35	-	1	7	1	6	5	2	2	4	-	1	5	-	1	-	-	-	-	-	-
水痘	1,683	10	165	609	347	216	110	69	47	22	19	20	14	1	34	-	-	-	-	-	-
手足口病	16	-	-	2	1	1	2	4	4	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	98	1	26	59	11	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	307	1	24	89	66	42	37	18	12	6	5	2	4	1	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	50	-	2	1	2	1	10	4	7	9	4	4	5	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	57	-	1	3	2	3	1	2	2	1	1	1	3	-	4	13	10	4	3	3	3
合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上					
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	2	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第 33週

(8月14日～8月20日)

平成29年9月6日

インフルエンザの定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(4.72)、島根県(0.43)、新潟県(0.38)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は25例と前週と比較して減少し、12都県から報告があった。

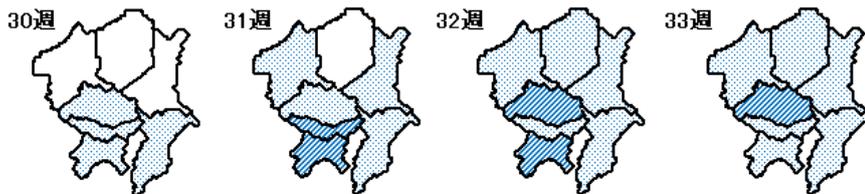
RSウイルス感染症の報告数は5,389例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約75%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.91)、鹿児島県(1.46)、北海道(1.39)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第25週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は愛媛県(2.35)、鳥取県(1.95)、大分県(1.69)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(6.61)、大分県(5.97)、岡山県(5.52)である。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は石川県(0.52)、宮崎県(0.47)、鳥取県(0.42)である。手足口病の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は長野県(11.33)、新潟県(10.70)、山形県(9.68)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は岩手県(0.35)、山形県(0.21)、宮城県(0.15)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(2.33)、岩手県(1.58)、島根県(1.45)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は秋田県(2.25)、岐阜県(1.20)、群馬県(1.13)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。5都道県から7例報告があり、年齢別では0歳(3例)、1～4歳(1例)、10代(1例)、60代(2例)であった。

<関東情報>

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、埼玉県(2.24)からの報告が多い。

RSウイルス感染症



		平成29年 33週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	671	109	19	4	4	10	26	29	17
	定点当たり	0.14	0.08	0.16	0.05	0.04	0.04	0.13	0.08	0.06
RSウイルス感染症	報告数	5,389	1,501	118	48	57	331	129	454	364
	定点当たり	1.76	1.74	1.57	1.00	1.06	2.24	0.98	2.04	2.00
咽頭結膜熱	報告数	1,499	433	39	5	22	121	63	127	56
	定点当たり	0.49	0.50	0.52	0.10	0.41	0.82	0.48	0.57	0.31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	2,835	833	86	17	54	147	125	201	203
	定点当たり	0.93	0.97	1.15	0.35	1.00	0.99	0.95	0.90	1.12
感染性胃腸炎	報告数	8,290	2,074	171	46	102	385	269	632	469
	定点当たり	2.71	2.41	2.28	0.96	1.89	2.60	2.04	2.83	2.58
水痘	報告数	695	176	17	9	8	37	23	50	32
	定点当たり	0.23	0.20	0.23	0.19	0.15	0.25	0.17	0.22	0.18
手足口病	報告数	16,943	6,707	653	366	253	1,364	723	1,804	1,544
	定点当たり	5.54	7.78	8.71	7.63	4.69	9.22	5.48	8.09	8.48
伝染性紅斑	報告数	151	57	3	3	3	16	4	10	18
	定点当たり	0.05	0.07	0.04	0.06	0.06	0.11	0.03	0.04	0.10
突発性発しん	報告数	1,129	340	26	17	29	59	41	92	76
	定点当たり	0.37	0.39	0.35	0.35	0.54	0.40	0.31	0.41	0.42
百日咳	報告数	33	6	-	-	-	2	1	1	2
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.01	0.01	0.00	0.01
ヘルパンギーナ	報告数	3,632	1,276	111	33	101	203	231	296	301
	定点当たり	1.19	1.48	1.48	0.69	1.87	1.37	1.75	1.33	1.65
流行性耳下腺炎	報告数	1,177	174	8	19	29	28	19	32	39
	定点当たり	0.38	0.20	0.11	0.40	0.54	0.19	0.14	0.14	0.21
急性出血性結膜炎	報告数	6	3	-	-	-	-	1	1	1
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	-	0.03	0.03	0.02
流行性角結膜炎	報告数	584	176	13	10	19	47	18	20	49
	定点当たり	0.85	0.89	0.76	0.83	1.36	1.15	0.53	0.56	1.14
細菌性髄膜炎 #2	報告数	14	5	-	-	-	-	3	2	-
	定点当たり	0.03	0.06	-	-	-	-	0.33	0.08	-
無菌性髄膜炎	報告数	30	6	-	1	-	3	1	-	1
	定点当たり	0.06	0.07	-	0.14	-	0.30	0.11	-	0.10
マイコプラズマ肺炎	報告数	138	29	6	-	9	1	10	3	-
	定点当たり	0.29	0.35	0.46	-	1.13	0.10	1.11	0.12	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	6	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	7	3	-	-	-	-	1	2	-
	定点当たり	0.01	0.04	-	-	-	-	0.11	0.08	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

感染症発生動向調査 2017年

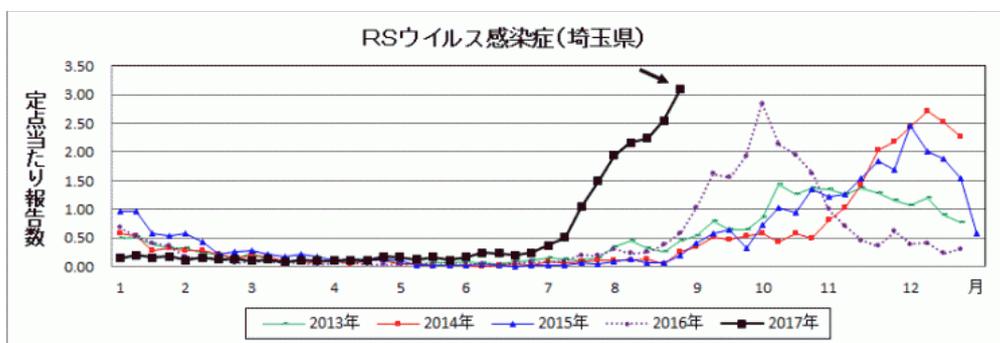
- [感染症の流行状況 2017年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第18週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第19週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第20週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第21週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第22週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第23週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第24週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第25週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第26週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第27週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第28週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第29週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第30週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第31週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第32週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第33週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第34週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第35週](#)

感染症の流行状況 2017年 第35週

2017年第35週（平成29年8月28日～9月3日）の要点 平成29年9月6日

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、前週よりさらに増加し、過去4年で最も多くなりました。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹に関する情報の掲載ページへ](#)
- [風しんに関する情報の掲載ページへ](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	↑	★★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	↓	★★	百日咳	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	ヘルパンギーナ	→	★★
感染性胃腸炎	→	★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↑	★
水痘(みずぼうそう)	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
手足口病	→	★★★	流行性角結膜炎	→	★★★

*1. 推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2. 推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3. 流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン